





## 2019 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況①

団体名	特定非営利活動法人 ジョイライフさやま	実施日	毎月第 2 日曜日、 2019 年 4 月 28 日、8 月 18 日
代表者	久保田 慎三郎	活動場所	狭山市（入間川）
タイトル	環境の未来と夢を子供たちとともに		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川の清掃活動や生き物捕獲、水質調査など自然を見る力を養う環境学習を取り入れ、子供たちが成長する学びの場を創出し、子供たちとともに故郷創生につながる事業を展開する。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不法投棄の温床となる手つかずの河川敷の樹林整備（繁茂していた外来種のハリエンジュなどの下草刈り）、ゴールデンウィークにプレイパーク開催。</li> <li>・ 川底生物の採取による水質調査、漁業協同組合の支援を受けて地引網による生態系調査（合計 153 匹捕獲、どんな魚がいたか学習）。</li> <li>・ NPO 草加カヌー協会の支援を受け、カヤック乗り体験を通じたプラごみ回収。</li> <li>・ 県水環境課より彩の国環境アドバイザーの派遣を受けて生物環境学習。</li> <li>・ 日本釣用品工業会の支援を受けて環境学習。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>河川敷の樹林整備</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地引網による生態系調査</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>カヤック乗り体験を通じたプラごみ回収</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>川底生物の採取による水質調査</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 樹林整備により不法投棄が減り、見通しが良くなることで防犯にもつながり、市民が憩える場所として変貌を遂げている。</li> <li>・ 今回初めて取り入れた、子供たちと入間川の生態系を学習する活動は、市長や県議と子供たちが一緒に学ぶことができ、川や岸辺の景観を維持する大切さを話し合うことができたことが大きな収穫となった。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏休みに行う事業としては暑さ対策が必要であると感じた。</li> <li>・ 生物調べとカヤック体験の距離があり移動に手間取り時間のロスが出てしまい、対策を練る必要がある。</li> <li>・ 整備地に台風 19 号により入間川の水が溢れ土砂や流木がごみと共に押し寄せ、重機を入れないと、人力だけではとても掻き出せず、対策を練っている。</li> </ul>		
最終助成決定額	160,000円		

※活動完了報告書を元に作成

## 2019年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況②

団体名	上尾の自然を守る教職員の会	実施日	2019年4月6日(土)、9月28日(土)、 10月27日(日)、2020年1月5日(日)
代表者	安孫子 繁子	活動場所	上尾市・川島町・川越市(荒川ノ三ツ又沼 ビオトープ)
タイトル	三ツ又沼ビオトープの自然環境を楽しむ会		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立以来、他団体と協力し三ツ又沼地域の調査・自然保全活動を続けている。その中で若い親子が汚い、怖い等を理由に自然離れをしている現状に危惧を抱いてきた。楽しく自然に接する体験を親子で持ってもらいたいと思い、自然塾と名付けて活動。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を見るだけではなく、活用し体験しながら、楽しく学べるようなイベントを実施した。専門的な講師の指導に子供たちはのびのび自然を楽しんだ。</li> <li>・大人向けにも自然を楽しんでいただける活動を行なった。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>自然塾三ツ又 虫と遊ぼう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>七草の会</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>自然の驚異を体感</p> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子自然塾では若い親子が参加してくれ、終わりに子ども達から「また来たい!」と言ってもらい、目的がなかった。新年早々の七草の会では大人もじっくりと楽しめた。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察が終わった後も、机を用意し、ルーペや顕微鏡等を使って細かい部分も観察したいのだが、どうしても時間的余裕がない。また、あまり専門的にすると子ども達が飽きてしまう可能性もある。</li> </ul>		
最終助成決定額	140,000円		

※活動完了報告書を元に作成



## 2019年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況③

団体名	特定非営利活動法人 荒川の自然を守る会	実施日	2019年4月12日・14日、10月6日他
代表者	菅間 宏子	活動場所	上尾市・川島町・川越市（荒川／三ツ又沼ビオトープ）
タイトル	三ツ又沼ビオトープの自然環境管理作業		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設立以来、他団体と協力し三ツ又沼地域の調査・自然保全活動を継続。行政、学識者、市民団体が協力し「保全管理計画」を作成、保全イメージを共有しつつ、約28年の間地域の会員を中心にボランティア活動で保全管理に取り組んでいる。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来種の駆除、アシ原の健全化を図るためやヨシ刈りを実施した。</li> <li>・ より良い自然環境を守ると同時に育てる活動として、地域の在来野草の種子からの育苗と移植活動に力を入れた。</li> <li>・ 刈り払い機を使用した適度な草刈りによる草原の維持、チェーンソーを使用した管理作業を行った。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ファインモータースクールの方と観察・管理</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>カナムグラ抜き</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>外来種駆除と在来植物の移植作業</p> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画通り保全管理作業が実施できた。在来野草の種子から育てた苗の移植は、台風19号による洪水のため、思うような結果が得られなかったのは残念だった。</li> <li>・ 洪水後の大量のごみ拾いや倒木等の撤去など臨時の管理作業が多く、チェーンソー作業が大幅に増加したが、従事者は保険のおかげで安心して作業できたと思う。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広い面積を効率よく管理するため、どうしても機械に頼らざるを得ない。そのため燃料費が年々増加している。</li> </ul>		
最終助成決定額	180,000円		

※活動完了報告書を元に作成



## 2019年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況④

団体名	比企の川づくり協議会	実施日	2019年12月10・12・14・19・23・25日、 2020年1月10・15日、2月3・14・15・17・ 18・20～22日
代表者	渡辺 仁	活動場所	東松山市（都幾川）
タイトル	被災地河川見学会・水害シンポジウム		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風19号による土手決壊、越流などでもたらされた多大の被害はなぜ起きたのか、今後どう対策をするかを話し合う。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都幾川の早俣地区、神戸・おとうか橋地区、鞍掛橋パーベキュー場を車で廻り、国土交通省荒川上流河川事務所、埼玉県東松山県土事務所、東松山市の各担当者から被害状況と修復状況を伺った。</li> <li>・シンポジウムでは、東京電機大の中井正則教授より「治水計画の歴史と今後の展開」、NPO 荒川流域ネットワークの鈴木勝行代表より「水害による入間川流域の魚道被害報告」、魚類専門家の斉藤裕也氏より「地球温暖化、生態の変化、ダム土砂掃流」を伺い、意見交換を行った。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>シンポジウムで3名の講師が講演</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>現地見学会（都幾川・早俣地区）</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>現地見学会（都幾川・おとうか橋）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>現地見学会(都幾川・鞍掛橋パーベキュー場)</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国、県、市が参加するこのシンポジウムは多くの関心を集め、予想の2倍以上の70名が参加するという事となった。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被害が甚大であったため、未だ元のお宅に戻っていない住民もいる状況で、シンポジウムでは被害状況を詳細に調査できなかった。さらに水害被災者がどのような行動を行ったかを記録できなかった。そのため、聞き書きなどを開始する予定である。</li> </ul>		
最終助成決定額	136,100円		

※活動完了報告書を元に作成



## 2019 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑤

団体名	特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク	実施日	2019年5月18日、6月2日～9月25日、 10月19日、10月31日
代表者	鈴木 勝行	活動場所	川越市、狭山市、入間市、坂戸市、日高市、 飯能市、鶴ヶ島市、毛呂山町、ときがわ町、 嵐山町、東秩父村、川島町（入間川、赤間川、 高麗川、葛川、都幾川、槻川、瀬戸川、唐沢 川、谷川、一ト市川、雀川、田黒川、小畔川、 南小畔川、北小畔川、霞川、東大谷川、西大 谷川、飯盛川）
タイトル	入間川水系一斉水質調査及びマップ作成と報告		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荒川水系に清流を蘇らせることを目標に、まずは多くの方々に身近な河川に関心を持ってもらうため、当会設立から水質調査を行ってきた水質調査の結果をマップ化して、荒川流域の環境団体、行政各機関、学校等に広く配布するとともにインターネット上で公開し、河川環境改善の啓発を行う。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2016年度に作成したソフトを活用してマップを作成し、一斉水質調査参加団体及び関連団体に早期にマップを配布するとともに、インターネット上（ホームページ、Facebook）で公開した。</li> <li>・ 本年度は特に、アユの遡上調査を実施している入間川水系の調査に重点をおいた。</li> <li>・ 2018年度に開発した、2010～2018年の水質調査結果のグラフを表示するアプリ（Ar-WQ）に、本年度の調査結果も表示した。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>簡易キットで水質検査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>荒川流域一斉水質調査マップ</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加団体は、地域の河川の経年変化を把握し活動につなげている。昨年度に引き続き本年度も「時系列グラフ付き水質調査マップ」の公開により、流域住民及び参加団体に貢献できた。</li> <li>・ 高齢化により取水が不可能となった地点を、27 団体、3 大学、1 個人にお願いして調査を行うことができた。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢化により採取が不可能となった地点を別団体に依頼して調査を行う工夫をしたが、メンバーが採水地点に分散するので、各団体は調査地点での撮影に苦労していると思われる。</li> </ul>		
最終助成決定額	150,144円		

※活動完了報告書を元に作成

## 2019年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑥

団体名	SUN JOY 南小畔川	実施日	2019年5月25・26日、6月9日、9月11日、 11月13日、12月15日、2020年2月5日
代表者	安原 昭司	活動場所	川越市笠幡（南小畔川）
タイトル	アレチウリ駆除と減災、海プラスチック阻止活動		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定外来種アレチウリ駆除と雑木処理により、河川の増水時の水流をスムーズにする。</li> <li>・ 世界で問題視しているプラスチックを川で阻止する。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桑の木や葦、アレチウリが繁茂して流水を阻み、水害が発生しないように処理。</li> <li>・ 日本固有の野草を特定外来種アレチウリから守るための駆除。</li> <li>・ 海にプラスチックを流さないため河川内のプラスチック回収。プラスチックは、橋の上からの放棄が多いのか、主に飲食物（プラスチック、レジ袋、たばこ）である。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>収縮竿を使用して川のプラスチック回収</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>プラスチック回収結果</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>特定外来種アレチウリの駆除</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>特定外来種アレチウリの駆除</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雑木処理で流水がスムーズになり地域の方から喜ばれている。</li> <li>・ アレチウリの発芽時期、プラスチックの様子で年間活動以外にも臨時活動が増えている。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アレチウリの駆除は猛暑とアレチウリの繁茂時期（年4回時期をずらして発芽する）との戦い。雑木処理は水が少なくなる11月から2月までが活動時期で寒さとの戦い。活動も増えてきているため会員の募集を考えたい。</li> </ul>		
最終助成決定額	88,296円		

※活動完了報告書を元に作成

## 2019年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑦

団体名	狭山市立入間川小学校	実施日	2019年5月24日、7月1日、9月27日、 2020年1月8日
代表者	新井 忠洋	活動場所	狭山市（入間川）
タイトル	入間川探検隊		
活動目的	・コミュニティースクールとして地域の協力や結びつきの強さを生かし、「総合的な学習の時間（ゆりの木学習）」を中心に、隣接する入間川で観察や体験学習を行い、地元の川や自然への愛着を育む。		
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入間川の自然観察・・・入間川の河川敷にて、草花の様子、岩石の観察、川に生息する生きものの観察や季節探しを行った。</li> <li>2. 入間川の水質検査等・・・入間川の水質検査や地域清掃を行った。観察の帰りには、ゴミを拾って帰るなど自然を愛する心を培っている。</li> <li>3. カヌー体験・・・狭山市環境ネットワーク等の協力を得て、カヌー体験を行い、川を身近で感じる良い機会となった。</li> <li>4. 地引網体験・・・漁業組合の協力を得て「地引網体験」をした。その歴史や方法の説明も受けた。</li> <li>5. 学習発表会・・・入間川や地域環境に関する1年間の学習の成果を保護者や地域の方に向けて発表した。</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>入間川の自然観察</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>学習発表会</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちは、入間川周辺の自然環境の観察や調査、体験活動を通して、自然環境と向き合い、自分の課題を見つけ探究することができた。また、自分の考えや思いを相手に的確に伝えようとする態度や能力を高めることができた。</li> <li>・地域の指導者たちは、当初、環境に関心の薄い子供たちに対しても熱心に語りかけ、入間川や自然環境を守ろうという熱い思いを子供たちに伝えていた。子供たちは、学習を通してその思いを感じ取り、自分の故郷に誇りを持ち、豊かな環境の中に生活できる自分を見つめることができた。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境が相手であって、フィールドワーク中に雨が降ってきたり、晴天で気温が過剰に上昇したり、天候に活動内容が左右される難しさを感じた。児童の安全を保障することを第一とするも、この入間川探検隊の活動は、それも含めた得難い貴重な体験活動であるので、今後も継続して取り組みたい。</li> </ul>		
最終助成決定額	190,000円		

※活動完了報告書を元に作成



## 2019 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑧

団体名	特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム	実施日	2019 年 10 月 27 日
代表者	愛場 謙嗣	活動場所	鳩山町（唐沢川）
タイトル	鳩山町における自然環境調査保全活動		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳩山町の北東部は県立丘陵自然公園区域にあるなど自然豊かな山村部にあるが、公園内に大規模集合住宅（鳩山ニュータウン）が造成され、町内に 4 つのゴルフ場ができるなど、相次ぐ開発により自然・生活環境が大きく変化してきている。そうした自然・生活環境の変化を多面的に継続監視（モニタリング）することを通して、多様な生態系の再生とより安全な暮らしの確保に向けての基礎データを蓄積する。</li> <li>また、様々な環境保全活動の体験学習・講演会などを通してそれらの意義への理解を深めてもらう。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報公開で得たゴルフ場での農薬散布計画書に基づき、今年度も昨年度と同様、採水直前に散布されたメタラキシル、ホセチル、シクロスルファミロンの 3 成分の残留分析を行った。3 つの分析対象農薬成分は発がん性の疑いの濃いもの、および今年度に散布量が多かったものから選んだ。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>唐沢川での検査試料採水</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>残留農薬計量証明書</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>残留農薬分析は、いずれも検出限界以下の「0.001mg/リットル未満」だった。今回は一括分析できる 25 検体について有効数字の認められる流出はなかった。</li> <li>分析結果を「はとやま環境フォーラム NEWS」20 号で町内 3,000 世帯に広報した。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>蓄積データを基に流域の水生物への影響の有無と程度の調査マニュアルを入手する。</li> <li>鳩山町実施の残留調査が石坂 GC では 1 カ所に削減に伴う継続実施体制の確立を図る。</li> </ul>		
最終助成決定額	68, 260円		

※活動完了報告書を元に作成



## 2019 年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑨

団体名	高麗川ふるさとの会	実施日	2019 年 4 月～2020 年 2 月
代表者	三浦 輝夫	活動場所	坂戸市浅羽（高麗川／浅羽ビオトープ）
タイトル	清流高麗川プロジェクト		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高麗川の良好な水辺環境を将来の子孫に引き継いでいくために、市民が一体となり、行政との協働の中で、環境保全活動を推進していく。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミ拾い（水路・平地）をする班、草刈り作業（6 月～10 月まで）を行う班と 2 班に分かれて活動を行った。</li> <li>・ 棲息する昆虫などの逃げ場を確保するため全体を数ブロックに分けて、刈り払い機を使用して草刈りを行った。</li> <li>・ 11 月からは、水路の整備として水の浄化をすすめる礫を並べての作業や水路に茂っている水草の除去作業、水路の土砂撤去作業などを行った。</li> <li>・ ゴミ受けネットを設置し、坂戸市浅羽地内にある浅羽ビオトープへ上流から流れ込むゴミ等の流入防止対策を行った。</li> <li>・ 広報「こまがわニュース」（毎号 200 部、A3 両面印刷）を 3 回発行・発送し、会員、関係機関に活動内容の報告を行った。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>草刈り作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>水路のゴミ拾い</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ゴミ受けネット設置工事</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>広報発送作業</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動開始から 17 年になり以前に比べ捨てられるごみはとてま少なくなっている。しかし不法投棄されるごみは相変わらずで、こちらは一気に大量のごみが捨てられることがある。</li> <li>・ 産卵のためビオトープに昇ってくる鯉やライギョの遡上を防止するためのネットを設置した効果はあるように感じている。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示板に活動日の案内を表示することで、植生観察会や野鳥観察会への会員外の参加もみられている。しかし加入までには至っていない。幅広い年代の会員確保を目指す。</li> </ul>		
最終助成決定額	185,000円		

※活動完了報告書を元に作成

## 2019年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑩

団体名	特定非営利活動法人 かわごえ里山イニシアチブ	実施日	2019年5月3日、6月23日、7月7日、12月19・22日、2020年1月20日～26日、2月16・22日
代表者	増田 純一	活動場所	川越市福田（入間川、小畔川、越辺川流域）
タイトル	生きもの育む田んぼプロジェクト2019		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と調和し人と生きものにやさしい田んぼ活動を行い、誰もが安心・安全に暮らせる人と自然と生きものが共生できる環境豊かな里山づくりを目指す。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家と非農家（消費者）が連携して苗づくり、田植え、稲刈りを通して、農薬や化学肥料を一切河川に流さない農法を実践し、環境に優しいお米作りを行った。</li> <li>・生きもの調査を通して環境調査・環境教育を行い、講演会や勉強会で環境にやさしい田んぼの重要性の普及を行った。生きもの観察会では大勢の子供たちで賑わい、生きものの生態や生きものを育む環境保全の大切さを学習した。</li> <li>・田んぼをフィールドにした田んぼ文化の伝承や地域コミュニティ作りを行った。</li> <li>・入間川から田んぼに水が入る途中にビオトープを造成し、生きものの棲み家や市民の憩いの場を作った。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>生きもの観察会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「いのちを守る種の話」講演会</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>環境栽培型のまこもでお正月飾りづくり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ビオトープ工事</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川に農薬や化学肥料を使わない生物多様性農法による田んぼ活動が、生物多様性アクション大賞2019にて「入賞」を受賞した。</li> <li>・用水路には沢山のメダカやドジョウ、ナマズなどが入間川から遡上してくるようになった。田んぼの上空には、エサ動物を狙って沢山のツバメが飛び交い、田んぼにはおびただしい数のカエルやクモが生息するようになった。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川に汚れた水を流さない農法によるお米作りの参加者をさらに増やす。</li> <li>・6次産業化として、農福連携の枠組みで障がい者施設で2020年7月からマコモ茶製品づくりが生産に入る予定。</li> </ul>		
最終助成決定額	140,000円		

※活動完了報告書を元に作成



## 2019年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑪

団体名	埼玉県立いずみ高等学校	実施日	2019年10月24日、2020年1月30日、3月1日
代表者	栗藤 義明	活動場所	川島町(荒川、入間川/三ツ又沼ビオトープ)
タイトル	三ツ又沼ビオトープ環境保全活動		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三ツ又沼ビオトープは、近年畑地や河川敷からの外来草本植物の侵入を受け、地域の在来植物が減少し生態系のバランスが崩れつつある。当校の生物サイエンス科では、2年生の「生態学基礎」の授業の一環として、ビオトープの環境保全活動に取り組む。</li> <li>・実際に環境保全活動を行っているボランティアの方々と共に活動することで、授業終了後もボランティアとして環境保全に取り組める生徒を増やす。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒川上流河川事務所、日本生態系協会、あらかわ市民環境サポーターの協力により、外来種の駆除や在来草本植物の植え付け、サクラソウやノウルシに代表される貴重な植物の保護活動、三ツ又沼に自生する在来植物の発芽率調査などに取り組んだ。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ボランティアや日本生態系協会から ビオトープ管理の重要性の説明を受ける</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大型台風後の倒木や流木除去、ゴミ拾い</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>希少種のサクラソウやノウルシの保護活動、 発芽し始めた外来種の抜き取り</p> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した生徒は、地域の自然環境が直面する問題を直に見て、その解決に向けた実践的な環境保全活動を体験できた。</li> <li>・また、学校で行う講演会や在来植物の発芽率を促進する実験とリンクさせることで、より多面的に環境保護の方法について学ぶことができた。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物サイエンス科以外の生徒に対してもボランティア参加の機会を作ることで、1年生や他学科の生徒もビオトープの環境保全活動に興味を持ってきており、今後は、この流れを活かしつつさらに活発な活動につなげていきたい。</li> </ul>		
最終助成決定額	183,480円		

※活動完了報告書を元に作成

## 2019年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑫

団体名	川島町立つばさ南小学校	実施日	2019年7月3日、9月12日、12月3日
代表者	柳澤 睦夫	活動場所	川島町(荒川、入間川/三ツ又沼ビオトープ)
タイトル	守ろう 川島の緑と水		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生が総合的な学習の時間に、「守ろう 川島の緑と水」というテーマで学習を進めることで、身近な環境に興味・関心を持つとともに、普段何気なく見ている自然が、様々に繋がり、その一部でも崩れると大きな変化が現れ、それを戻すには大変の労力と時間が必要であることを感じる。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節ごとに表情を変える自然の中で、動物や植物の観察を行ったり、外来植物の駆除の体験をしたり、本校で種から育てた植物の植え戻しなどの活動を、日本生態系協会、荒川上流河川事務所、市民ボランティアのご指導のもと行った。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>フィールドワーク</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>外来植物の駆除</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>学校で種から育てた在来植物の植え戻し</p> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちは三ツ又沼ビオトープでの活動をとっても楽しみにしており、自然観察、在来種を校内で育てることを通して、環境保全に関する知識・理解を深めることができた。</li> <li>・授業とは別に、自主的に日本生態系協会主催のミドリシジミの観察に参加したり、家でハンノキを育てたりと、校区である三ツ又沼ビオトープの自然を守ることに興味関心を抱く児童が増えた。</li> <li>・埼玉県生態系保護協会の「私たちの自然を守ろうコンクール」では、作文部門での知事賞をはじめ、多くの作品が入賞し、「学校小」をいただいた。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化をわかりやすくするように、フィールドワークの実施時期を設定する。</li> <li>・途中経過の報告会を学校公開日等に合わせて行うなど、より積極的に地域へ発信していくことも大切にする。</li> <li>・時間をかけた長い活動となるので、児童の興味・関心が持続できるように支援する。</li> </ul>		
最終助成決定額	89,422円		

※活動完了報告書を元に作成



## 2019年度「武州・入間川プロジェクト」活動助成 実施状況⑬

団体名	川越の魅力を育てる会	実施日	2019年7月6日・13日・17日・19日・21日 ～25日・28日
代表者	松村 隆	活動場所	川越市古谷上（麦生川、古谷湿地）
タイトル	川越市古谷湿地エリア「魚の生物調査報告」		
活動目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当会が麦生川の魚調査を実施することで、現在出入口が施錠されている古谷湿地の自然豊かな憩いのエリアを広く知ってもらい、川越市環境部が自然体験・環境学習に取り組んでいただくことを期待する。</li> </ul>		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県から川越市に移管された約9万㎡の公用地、古谷湿地エリアにて、川越市河川課から許可を受けて、麦生川の魚調査を行った。</li> <li>・ 活動場所が河川管理者（川越市）の除草エリア外だったため、20日間かけて、草刈りによる歩行経路の確保及び安全管理対策を行った。</li> <li>・ 案内ポスターを作成し掲示した。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>調査案内ポスターの掲示</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>調査場所までの歩行経路</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>調査イベント運営準備</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>麦生川の魚調査</p> </div> </div>		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隣接する団地（グリーンパーク）の自治会長に面会し、自治会掲示板に「開催ポスター」を掲示していただいた。</li> </ul>		
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隣接する川越市立古谷小学校を訪問し、校外学習としての参加を提案したが、当日参加者はいなかった。あらためて参加依頼を行う。</li> <li>・ 川越市環境部の協力が得られるよう調整したい。</li> </ul>		
最終助成決定額	58,890円		

※活動完了報告書を元に作成